

# 東海カード会員だより

2010年9月20日発行

各支部総会・校友会(同窓会・後援会・白鷗会各会員を含みます)日程(予定)

…詳細は各担当事務局・または校友課へ…

2010.8.25 現在

1. 10月 2日 (土) 同窓会岩手支部総会  
16:00 ホテルグランシェール花巻
2. 10月 8日 (金) 同窓会川崎支部総会  
川崎日航ホテル
3. 10月14日 (木) 東京都白鷗会総会  
18:30 校友会館
4. 10月16日 (土) 同窓会福岡支部総会  
18:00 博多都ホテル(17:00 講演会)
5. 10月16日 (土) 同窓会三多摩支部箱根駅伝予選会応援  
8:00 昭和記念公園内
6. 10月23日 (土) 同窓会北陸ブロック研修会(詳細未定)
7. 10月28日 (木) 函館地区白鷗会再発足総会  
18:00 函館国際ホテル
8. 10月31日 (日) 第三回 学園校友会フェア  
大磯プリンスホテル
9. 11月 3日 (祝) 東海大学同窓会第10回ホームカミングデー  
於:東海大学湘南校舎 事務局:事務部校友課
10. 11月19日 (金) 神奈川県白鷗会総会  
~11月20日 (土) 神奈川県後援会新旧役員会・研修旅行
11. 11月20日 (土) 同窓会岡山支部総会(詳細未定)
12. 11月22日 (月) 同窓会島根支部総会(詳細未定)
13. 11月27日 (土) 同窓会兵庫支部総会(詳細未定)
14. 11月28日 (日) 同窓会大阪支部総会(詳細未定)

## 提携協力店募集のお知らせ

東海カードでご利用頂ける独自の協力店は、会員の皆様のご協力により全国458店舗・施設に及んでおります。(2008.7.2 現在)

東海カードをより価値あるものにするために、引き続き皆様に協力店の募集をお願いしております。詳細は同窓会事務局までご連絡をお願いします。

## 東海大学ネットをご活用ください

- ・生涯メールアドレス(転送専用)の利用
- ・登録会員に対する情報の登録・公開、会員の検索とメッセージ送信
- ・詳細は以下のURLを参照ください。

[http://www.u-tokai.ac.jp/graduation/t\\_net/index.html](http://www.u-tokai.ac.jp/graduation/t_net/index.html)

## インターネットホームページについて

URL : <http://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

同窓会・校友会・後援会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

## 新しい飼育の取り組みを公開 飼育22カ月のマグロを水揚げ

高級魚として人気の高いクロマグロを陸上水槽で養殖する。海洋学部水産学科の秋山信彦教授らが進めてきた新たな試み「クロマグロ陸上養殖共同研究」の研究結果が7月7日、清水校舎で発表された。“東海大方式”の特徴である「地下海水」を利用したクロマグロの陸上養殖について、実験結果や養殖技術の開発状況を紹介します。この技術を用いて飼育したマグロの水揚げを公開した。

当日は、新聞やテレビなど報道各社が多数参加。秋山教授は、陸上養殖のメリットや課題などを紹介し、地下海水の使用量を最小限にとどめるため開発した「半循環方式」と呼ばれるろ過システムなどについて解説した。飼育水槽に適切な速さで流れを作ることによってマグロが壁に衝突死することを防ぐとともに、周囲に張り巡らせたネットで魚の飛び出しを防ぐなどの工夫についても触れ、「約4カ月の実験期間中の生残率が約50から80%だった」と成果を紹介した。

この研究は2006年度から、東海大学社会連携イノベーションセンター（当時「フロンティアリサーチセンター」）が、静岡県内の水産技術研究会社と産学共同で進めてきたもの。清水校舎内に設置した直径5メートル、深さ1メートルの特殊水槽4個に体長約20センチのヨコワ（クロマグロの稚魚）を収容し、毎年8月から約4カ月間、地下海水を使って育てる実験に取り組んできた。

### 地下海水を活用し食の安全性向上へ

この地下海水は校舎内2カ所の井戸からくみ上げたもので、年間を通して温度が一定であり、酸素を必要とする細菌類が検出されないことが特徴。海面のいけすを使った養殖に比べ、病原菌やウイルスによる感染症にかかりにくく、水銀やカドミウムといった重金属の体内への蓄積を少なくすることが可能だ。秋山教授は「水温の調整が必要ないため、コストの削減にもつながる」と話す。

なお、当日水揚げされたマグロは年度をまたいで飼育してきた一匹で、飼育期間が約22カ月と最長を記録した。体長76.5センチ、体重11キログラムで、現在的水槽で飼育できる大きさよりもはるかに育ったという。9日には共同研究企業による試食会も実施された。

「今回の成果発表会に至るまでの日々の研究活動においては、毎日のエサやりから水槽の掃除まで研究室の大学院生、学生たちが大変大きな役割を果たしてくれた」と秋山教授。「私たちの最終目標は陸上での完全養殖。今後高付加価値化や安定生産の実現に向けてノウハウを蓄積し、陸上水槽で可能な養殖システムのマニュアル化を目指していきたい」と話している。

東海大学校友会（後援会・白鷗会・同窓会）事務局

東海大学事務部校友課

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1

TEL 0463-58-1211 (内 2385)

E-mail koyukai@tokai.ac.jp